

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	米子市立あかしや		
○保護者評価実施期間	令和7年2月12日		令和7年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年2月12日		令和7年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会を持っています。	・近隣の保育所とは日々連携を図り、週に1回互いに行き来して遊んでいます。また、運動会、生活発表会にも参加していただき、保護者の方にも交流している様子を知っていただく機会となっています。	・保育所の職員との職員同士の交流の機会を増やし、活動の内容を一緒に立案したり、振り返りを行うなどしながら、交流での活動内容の充実を図ります。
2	・職員の資質の向上を図るため、研修を受講する機会や内部で研修を開催する機会を確保しています。	・一人ひとりの職員に必要な外部研修を受講する機会を設けています。また、受講後は受講した職員が園内で研修会を開き、講師となって学んだことを他の職員に伝達しており、職員皆の学びとなっています。	・オンライン研修も取り入れながら、複数の職員が同時に受講する機会を設け、職員の資質向上を図ります。
3	・児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	・クラスを担当したすべての職員が、園児一人ひとりの支援の目標や支援の方法が分かるように提示し、皆が同じ支援を行えるようにしています。	・現在工夫して取り組んでいることを継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長時間の支援について	・お子さんやご家族、並行通園先の保育所等への地域支援を行うために、職員の資質向上を図るための研修時間や、園内だけでなく他機関との各種会議の時間を確保する必要があります。そのため、長時間の支援を行うには通常の支援提供時間に療育を行う職員に加えて、さらに人員を確保する必要があります。	・今後のサービス内容の向上・充実については、それにかかわる人材の人数確保等の課題を踏まえながら検討していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
米子市立あかしや		令和7年3月28日				令和6年3月1日 26名		15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	14	1	0	0	・園庭遊具の改修、日・祝の園庭開放、とても嬉しいですが、ただ、老朽化なのか、またいつの間にか遊具が減ったような気がします。子どもたちが楽しく遊べる園庭であってほしいです。	・園庭では固定遊具で遊ぶ以外にも、その他の遊具や用具を利用してサーキット遊びをしたり、三輪車等の乗り物に乗ったり、いろいろな活動をしています。引き続き、遊びの設定を工夫して、楽しみながら体を動かして遊べるようにしていきます。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	2	・職員の人数が多いので、安心してあずけることができる。 ・常勤の教員（保育士）が少ないように感じますが、定員の（子ども）人数で考えていなければもう少し多くおるのではないかと思います。パートも少ないのではとも思いますが…配置人数がよくわからないのでわかりませんでした。 ・担任の先生の人数や名前はわかるのですが、補助？の先生のことが全然わからない（何人で1日を担当するかなど）。 ・基本的には適切かと思いますが、もう1人大人の手があればより行き届いた支援ができるのではと思いました。	・現在、子ども2人に対して、おおむね1人の職員を配置しており、国の配置基準を満たしています。また、子どもの状態や活動の内容に応じて柔軟に配置するなど、安心して活動できるよう努めます。 ・職員の名前については、玄関に職員紹介を掲示していますのでご覧ください。		
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0	・トイレの段差など所々気になる所はあるが、建物が高いのではないと思えます。建て替えの時には、もう少し考えて（車イスなどの）欲しいと思えます。	・館内の多目的トイレを活用しながら対応していきます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0	・きれいに保っておられ、そうじもきれいにされている。 ・床をはりかえた方がいかなと思う。いたんだ床の上で布団を敷いて寝ているのは、やめてほしい。 ・毎日、キレイにおそうじしてすばらしいです。	・床は年に一度、床面洗浄のうすワックス塗布をしています。 ・午睡時はカーペットを敷き、昼寝用の布団を敷いています。		
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	・1人1人、対応を考えてくださるので、子どもができる力が伸びてとても嬉しいです。アドバイスもしてくださるのでとても助かります。 ・子どもの特性は多岐にわたるので支援が及ばない所もあると感じる（施設や先生に問題は無い）。どうしても集団なので、また選んだ施設が子に100%マッチングしているかというのは分かり得ない難しさがある（親は深い所まで市知れない）。本当にこれでよいのかと迷うことがある。	・お子さんの特性に応じた支援を行うことができるよう、多職種で連携を図り、支援しています。保護者の方が疑問に感じておられることや、困っておられることなどを話していただき、一緒に考えていくよう努めています。		
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0				
7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	・保護者のニーズを支援計画に取り入れていただいている。課題が達成できると喜びを感じます。 ・目標も達成しやすいものから、親の難しい注文の難しい目標も達成できそうな目標を立ててもらえて嬉しいです。	・保護者の方と多職種の職員で連携を図り、アセスメントを十分に計画を作成するよう努めています。		
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0				
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0				
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	1	・季節に合わせて工夫してくれていると感じる。雪の日はソリ遊びなど。	・お子さんが楽しく活動に参加しながら成長していくことができるよう、5領域に沿って活動プログラムを立案し支援を行っています。		

適切な支援の提供

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	0	0	・近くに保育所や小学校があり交流している姿を見せていただきました。	・近隣の保育園、小学校との連携を大切にしています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	0	・ペアレントトレーニングに参加させてもらいました。 ・できれば、冬期ではなく、雪の降らない時にしたい。 ・参加しました。機会があれば又参加したい。	・開催の時期につきましては、他の行事等との調整をして検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	0	0	・保ご者の方は忙しい中でも、保ご者会を開いていただき、保ご者同士で交流ができて、とても良いと思った。 ・きょうだいの支援とは、何のどこかからない。 ・保護者同士の交流はあったと思います。きょうだい同士の交流は、なかったのかな？と思います。	・今年度は秋祭りを土曜日に開催したため、園児のきょうだいに参加をしていただき、楽しんでいただくことができました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	1	・事業所、支援員さんとは、体制が整備されていると思う。 ・特に相談していないので、よくわからない。	・相談の内容に応じて、園内だけでなく、必要に応じて適切な機関へつなぐよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1	・マニュアルは把握していないので、周知できていないのかなと思います。行事予定で訓練の予定があるのを見るので実施はされていると思います。	・各種マニュアルにつきましては、玄関横に掲示をしています。非常時の訓練につきましては、園よりお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	・されていると思いますが、説明などが無いのでよくわかりません。	・利用する子どもの安全確保の取組として、日ごろからの安全点検（施設の設備や散歩コースなど）や、各種緊急マニュアルを作成し訓練を実施するなど、計画的に取り組んでいます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	0	・子供が怪我をした際に丁寧な説明と対応をしていただきました。 ・とても誠実に対応してもらったと感じています。	・引き続き、ケガや事故の防止に努めます。保護者の皆様にも受診同行等ご協力いただきました。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	・その時その時の気分に左右されるが、おおむね、楽しんでいると感じる。	・引き続き、子どもたちが、安心して楽しく過ごせる場所であるよう努めます。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の支援には大変満足しています。就労している人、したい人にとっては、あずけられる時間が延長できるともっと良いと思います。 ・子どもを預ける時間が少しずつ長くはなっているが、親が働くとなると、色々制限をしないといけない。あかしやに入れることで、日中一時支援を受けれる事業所も限られ、また、そこで順番待ちをしないと利用できないので、大変困っている。 ・早朝や夕方の支援をしてほしい。 ・時間が短くて、どうしても時に預けられない。他の園（保育園など）一緒に延長して欲しい時には、延長できるようにしてほしい。 ・日中一時預かりの施設を増やしてほしい。 ・もう少しSTさんの日を増やして欲しいが、なかなか難しいよね…と思っている。 ・現在の支援については満足ですが、15時以降の預かりについて見守りだけでもいいので市で検討してほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のサービス内容の向上・充実については、それにかかわる人材の人数確保等の課題を踏まえながら検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	米子市立あかしや		公表日	令和7年3月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・安定した人員の確保が課題です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもにわかりやすいように、仕切りなどを使い、活動スペースを分けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃と、草取りなどの環境整備を職員で協力して行っています。	・設備等で経年劣化がみられる部分があり、適宜、整備に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・朝礼等で活動の内容、場所を職員間で把握し、部屋や場所を使う順番を調整することで、子どもが必要な部屋、場所を使うことができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・常に多職種で連携を図り、療育を行っています。 ・振り返りの日を設定し、定期的に行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会、クラス会、その他各種会議を定期的に開催し、意見を出し合い業務改善を行っています。	・課題や改善点について、意見を出し合える雰囲気づくりに努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は受けていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・どの職員にも外部研修を受講する機会を設けています。また、受講後は園内研修を行い、職員皆の学びとなるようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたツールは、乳幼児発達スケールを使い、保護者の方、職員がそれぞれ記入したものを using しています。	・心理士による発達検査等やアセスメントを取り入れることができると考えています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的に職員会やクラス会を開催し、チームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・日々打合せがしやすいよう、職員室の事務機の配置を工夫しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・園児の併行通園先の園と互に行き来しながら、情報共有や相互理解を図るよう努めています。連絡ノートをやりとりして連携している併行通園先もあります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・専門職の派遣事業を利用するなどしています。 ・外部研修も積極的に参加をしています。自主研修に参加をする職員もあります。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・近隣の保育所とは、年に数回のイベントだけではなく、日常に互いに行き来して一緒に遊ぶことを大切にしています。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
保護者への説明	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家庭訪問、個人懇談等を定期的に行っています。
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・きょうだい同士の交流イベントは行ってませんが、ご家族皆で参加をしていただく機会を設け、参加を呼びかけています。ご家族に参加をしていただく行事の日程が、なるべくきょうだいの行事と重ならないよう、年度初めに保護者の方に予定をおたずねしています。

明等	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・随時、見学等を受け入れています。	・感染症対策を徹底しているため、交流の機会が少ないですが、実施に向けて検討します。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルについては玄関横に掲示し、保護者総会や、重要事項説明時に周知しています。	・周知不足というご意見を踏まえ、定期的に周知するよう努めます。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間計画を作成し、毎月訓練を行っています。	・様々な非常災害訓練等を実施していますので、それを踏まえて適宜見直しを行い、災害対策への意識を高めていくよう努めます。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・てんかん発作については、必要に応じて医療受診の同行をさせていただき、状況を確認しています。	
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・毎月、献立確認の会を開き、医師の指示書に基づいて次月の献立を保護者、調理員、園長、担任で確認しています。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案について、その都度タイムリーに検証、回覧も使い、全職員に周知を行っています。また、月に1回、検討会を開催しています。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部研修に積極的に参加しています。研修受講後は、その職員が講師となって園内研修を開催し、職員皆で学んでいます。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束の必要性については、会議等において検討し、保護者の方に丁寧に説明し、同意を得ています。また、解除に向けての検討も行っています。		